

KIRIBATI

A vibrant tropical beach scene. In the foreground, two traditional huts with steeply pitched, thatched roofs made of dried palm fronds stand on a sandy beach. The hut on the left is partially obscured by a dense thicket of green tropical plants. A tall, slender palm tree stands in the center, its trunk leaning slightly. To the right, another thatched hut is visible, with a hammock strung between its posts. The background shows a clear blue sky with a few wispy clouds, a bright turquoise ocean, and a white sandy beach. The overall atmosphere is bright and sunny.

キリバス共和国ガイドブック

刊行にあたって

本資料は太平洋諸島センターの活動対象となっている太平洋島嶼国14カ国のうち、キリバスに関する観光情報を出来るだけ詳しく取りまとめたものです。また、同国をできるだけ広く理解していただくために、観光情報以外にも同国の歴史、産業、社会等についても簡潔に紹介いたしました。

本資料で取り上げたキリバスは自然豊かでユニークな観光資源を有しており、同国政府は観光開発に力を入れていますが、日本からの訪問者数は未だ限られています。本書が同国を訪問される際の参考となり、また同国につき理解を深めていただくための一助となれば幸甚です。

2023年3月

国際機関 太平洋諸島センター

キリバス



正式国名	キリバス共和国 (Republic of Kiribati)
面積	811平方キロメートル (無人島を除いた面積は717km ²)
人口	119,438人 (2020年キリバス統計局)
首都	タラワ (Tarawa)
民族	ミクロネシア系 (98%)、その他大洋州系及び欧州系が居住
主要言語	キリバス語、英語 (共に公用語)
宗教	キリスト教 (主にカトリック、プロテスタント)
政体	共和制
1人当りGNP	4,107オーストラリア・ドル (2020年暫定値、キリバス統計局)
通貨	オーストラリア・ドル (A\$)
電話の国番号	(686) + (相手先の番号)

目次

キリバスの概要	2
首都タラワ	13
その他の島々	34
クリスマス島	41
関係先リスト	52

キリバスの概要

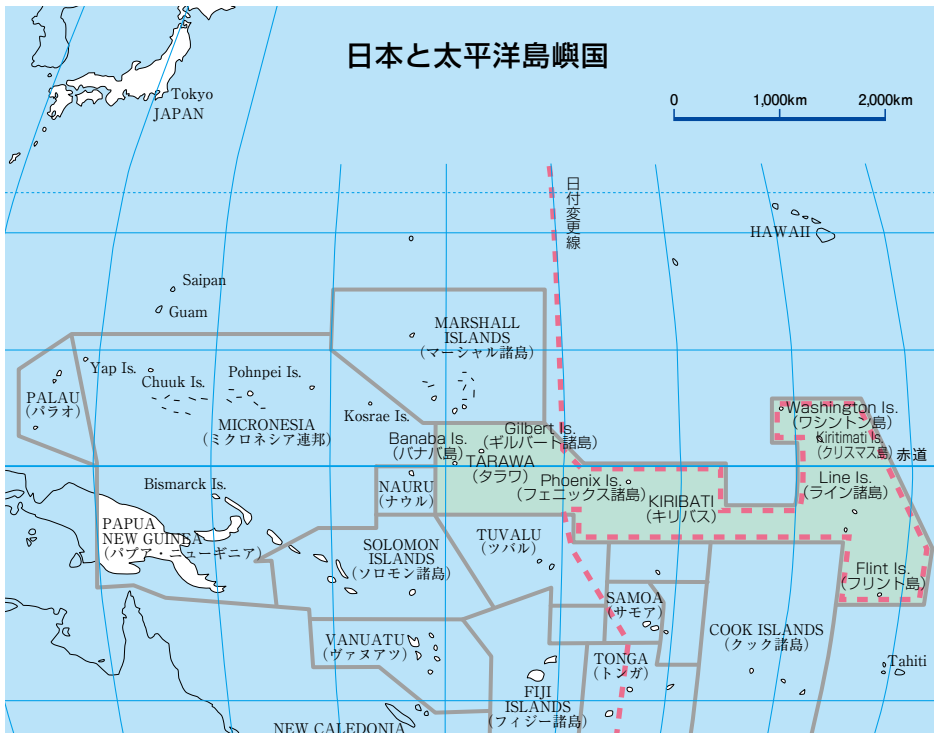
地理

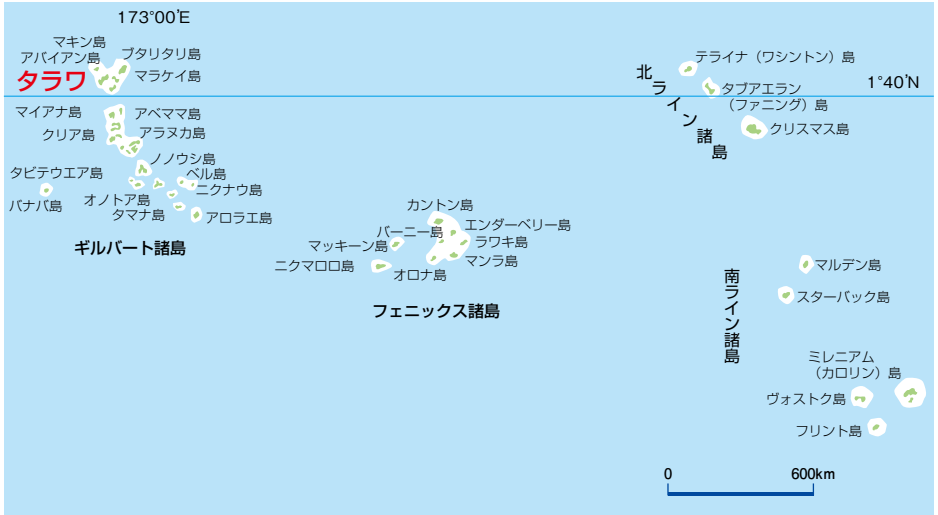
キリバス共和国は、赤道と東（西）経180度の交わる点を中心に西から、ギルバート諸島、フェニックス諸島、ライン諸島の3つの諸島群からなり、西端のバナバ（オーシャン）島（東経169度、ニューゼーランドのほぼ真北）と東端のミレニウム（カロリン）島（西経150度、タヒチの真北）の東西間が4,500km、北端のテライナ（ワシントン）島（北緯5度）と南端のフリント島（南緯11度）の南北間が2,050kmと、広大な水域に33の島（環礁）が散在している。世界第3位を誇る広大な排他的

経済水域を有している。

国土の総面積は無人島を含めると811km²、有人島のみだと711km²（対馬とほぼ同じ）で、その約半分（364km²）をクリスマス島が占めている。首都はギルバート諸島にあるタラワである。

各諸島はサンゴ礁でできており、ほとんどの島にはラグーン（礁湖）がある。隆起性珊瑚でできているバナバ島の最高地点は81mであるが、その他の島では海拔3.5mを越えるものはほとんどなく、大部分は平坦である。地球温暖化による海水位の上昇や気候変動は深刻な問題と捉えられている。





気 候

海洋性の亜熱帯気候で、平均気温は26～32℃の間にあり年間の格差は小さい。年間降雨量は地域により差が大きく、それぞれの地域の平均はクリスマス島の700mmからテライナ（ワシントン）島の4,000mmまで変化に富んでいる。首都タラワは1,500mmである。海洋性気候のため、平均湿度は75～80%と比較的高い。



歴 史

キリバスの起源は、ギルバート諸島の神話によれば、創造神ナレアウが先祖の木から花を摘んでサモア北方の海に蒔き、タラワとベル、タビデウエアの島を造り、それが分裂して現在の33の島になったと伝えられている。その島々に紀元前40年頃、東南アジアから人々が船で移住した、あるいは紀元2～5年に南太平洋より東から吹く風を利用してポリネシアの人々が移り住んだようである。

1606年、スペイン人探検家デ・キロスがブタリタリ島を確認。1788年には英国海軍大佐ギルバートがこの付近を航海したことから、自身の名前を名付けてその名前が諸島名となった。キリバスはギルバートが現地語化したもので、それ以前キリバスの人たちは自身の島々・人としてのアイデンティティーを「トゥンガル」と呼んでいた。

1892年英国の保護領となり、1916年にはギルバート諸島はエリス諸島（現在のツバル）と共に英国に併合され植民地となった。

太平洋戦争で1941年に日本が一時支配したが、2年後の43年には米軍がタラワやブタリタリ（旧称マキン）を占領。終戦後は再び英国の植民地となる。1956年から英国の核実験がクリスマス島で実施され、さらに1962年には米国が核実験を行った。

1975年10月、ポリネシア系住民が中心だったエリス諸島が合法的に分離され、1978年にツバルとして独立。その後ギルバート諸島も独立についての合意が英国政府との間で成立し、1979年7月12日にキリバス共和国として独立した。当初国名は「トゥンガル」とする予定だったが、先に独立したツバルと混同を避けるため、「キリバス」を正式に国名とした。

人口・民族

キリバスの人口は約120,000人で、このうち90%以上はギルバート諸島に住んでいる。バナバ島の人口は約300人



キリバスの少女

（2020年）、フェニックス諸島は約40人（2020年）、ライン諸島には約1万人が住んでいる。人種的にはミクロネシア系が98%と圧倒的に多く、その他若干の大洋州系、アジア系、欧州系が続く。

政治

英連邦の一員であるが、独立以来総督は派遣せず共和制を採用している。議会の定員は45名。議員は23の選挙区から選ばれ任期は4年。議員選挙の後、議会で議員の中から3名ないしは4名の大統領候補を選出し、国民の選挙によって大統領を決定する。大統領の任期は4年である。大統領・副大統領を含め最大13名の大臣により内閣が構成されている。なお、中央政府の他、



キリバスの国会議事堂

各島に地方役場・議会が設置され、地方自治体として機能している。

経 済

キリバスの経済は1900年ごろから1979年までの約70年間にわたり、バナバ（オーシャン）島のリン鉱石に依存していた。しかし、79年に英国から独立した時には既にリン鉱石は枯渇しており、以降リン鉱石に替わる輸出品の開発が大きな課題となっている。現在のキリバスの主な輸出品は魚介類（特にマグロ）、コブラ、海塩、海藻、観賞魚などである。キリバスはカツオ・マグロといった水産資源の宝庫である広大な経済水域を有するため、水産資源はリン鉱石枯渇後の最も重要な資源として期待されている。しかし、沿岸海域中心の小型船団による操業では実績をあげるのには難しく、近年では観光開発の努力も行っており、クリスマス島などが有望視されている。

主な財政収入源としては、関税等収入の他、外国漁船入漁料、日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）によるクリスマス島地上局使用料、諸外国からの援助および過去のリン鉱石の売上の一部を積み立てた歳入均衡準備金（REF: Revenue Equalisation Reserve Fund）の運用益などがある。また日本の遠洋カツオ一本釣り漁船を含む海外船舶の乗組員や、海外への出稼ぎ労働者による本国送金も、国民経済の大きな柱になっている。

日本との関係

戦前はギルバート諸島のプタリタリに、日本の貿易会社が支店をおき、貿易を行っていた。太平洋戦争中はバナバ、タラワ、アベママを日本軍が占領。特にタラワは激戦地として知られている。その後キリバスは1979年に独立し、戦前からの深い関係を引き継ぐ形で、日本からの経済援助が継続している。ビケニベウ発電所、トゥンガル総合病院、ベシオ港などの主幹インフラが日本の経済援助によって建設された。またJICA海外協力隊も派遣されている（2022年11月現在新型コロナウイルスの影響により派遣一時停止中）。

貿易関係では、日本は主に自動車、船舶用エンジン、船外機、金属製品を輸出している。一方キリバスからの輸入品としては魚介類（かつお、まぐろ）などが中心であるが、近年はクリスマス島で採取される海



塩の輸入も増えてきている。2021年の貿易高は日本からの輸出が約11億1千万円、キリバスからの輸入が6億円であった。

海洋訓練センター（15ページ地図）では日本人講師による日本語の指導が行われており、センターを卒業した多くのキリバスの若者が日本の漁船で働いている。

キリバスは太平洋戦争中の激戦地となり、現在でも海辺に日本軍の大砲などが放置されているが、日本の経済協力などもあり、日本人に対して親近感を持っている人は多い。

特産品

キリバスの特産品としては、まず魚介類が挙げられる。新鮮な魚介類はもちろん、タラワではツナジャーキーが製造されている。キリバス国内では購入できないがクリスマス島で製造された天然塩も人気がある（日本で購入できる）。その他ハンディクラフトもお土産として人気があり、パンダナス（タコノキ）製のバスケットやバッグ、マットなどや貝がらでつくったアクセサリーなど種類も豊富である。



社会と生活

●言語

公用語はキリバス語および英語であるが、日常生活ではほとんどキリバス語が使用されている。

【キリバス語の簡単な日常会話】

こんにちは	Mauri (マウリ) (時間帯を伴わない挨拶)
さようなら	Tiabo (サボー)
ありがとう	Ko rabwa (コ・ラバ)
お願いします	Taiako (タイアオカ) Bubuti (ブブスイ)
はい	Eng (エン)
いいえ	Tiaki (サキ)
お元気ですか?	Ko uara? (コウアラ?)
はい、元気です。 あなたは?	I marurung (イメルルン) Ao ngkee? (アオンケー?)



「マウリ」と挨拶してみよう

●宗教

19世紀後半からキリスト教の伝道活動



が行われており、主な宗教はローマ・カトリックとプロテスタントである。

●人々

キリバスの人は大らかで屈託がない。豊富な水産資源とヤシによって日常の食生活に心配がないことから、金銭にはあまり執着がなく「持てるものから持たざるものへ」の風習は今も根強く残っており、一族でしっかり助け合って生活している。これは全ての人は平等であり等しく権利を有するという考え方で助け合いの精神で、日本の「お互い様」の感覚と似ている点がある。少しシャイながら歌と踊りが大好きな人たちで、また客人を大切にもてなす習慣が色濃く残っている。

また、日本人にはなかなか馴染めない習慣かもしれないが、約束の時間に行くと誰もいなかったり、何も用意されていなかったりする。現地の人は、このようなのんびりした時間感覚を「キリバス・タイム」と呼んでいる。ただし政府機関などのアポイントメントの際は、「キリバス・タイム」は一般的に例外となっているため注意が必要。ホテルのチェックインの時間に行っても誰もいないこともあるかもしれない。腹を立てず郷に入れば郷に従うの精神でキリバスを理解しよう。

●伝統行事

キリバスの独立記念日である7月12日は、毎年国内各地で盛大な記念行事が催さ

れる。色彩豊かなパレードと伝統舞踊、カヌー・レースなどが人気のある催しである。キリバスの伝統舞踊では女性のコスチュームが独特である。パンダナスの葉や花で編んだ冠にタンクトップやパンダナスの葉で出来ている胸当て、腰みのを着け優雅ながらも力強く踊る。男性の踊りは勇壮な舞い。踊り手の後ろでは数十人の男女が独特の調子で声を張り上げて歌う。村の行事としてのダンスは、マネアバと呼ばれる集会所で行われる。



マネアバ



キリバスの踊り

●マスメディア

ラジオ放送は国営のRadio KiribatiがAM、FM放送を行っているほか、南タラワ内では民間のFM局が2局ある。新聞は

政府系週刊誌「Te Uekera」と、民間紙「Kiribati Newstar」がある。また、有料のテレビ民間放送局であるKiriONE TVも放映されている。



Radio Kiribati



キリバス語でかかれた新聞①



キリバス語でかかれた新聞②

●スポーツ

娯楽として人気があるのはサッカー、バレーボール、テニスや、柔道やテコンドーもここ近年盛んになっている。また、重量挙げは国際大会などでメダルを獲得している。他の太平洋島嶼国と違い、ラグビーは盛んではない。

伝統的なスポーツとして、日本の相撲に似た格闘技「カウン・ラバタ」というキリバス式レスリングがある。



カウン・ラバタ

旅行者のためのアドバイス

パスポートとビザ

一般的な観光目的でのキリバスへの渡航には、日本国籍の者のビザは不要（2022年11月現在）。入国には残存期間が6ヶ月以上のパスポートと帰りの航空券が必要。学術調査や商業用撮影のためキリバスに入国する者は、キリバス大統領府（Office of Te Beretitenti）に事前申請の上、所定の申請代金を支払わなければならない（商業用撮影の申請代金は3,000オーストラリア・ドル）。また許可なしに学術調査や商業用撮影を行うことは現在のところ厳禁とされており、またキリバス出国前に英訳付きで撮影素材の審査を受ける必要がある。商業用撮影をしない一般の旅行者が立派なカメラと機材を持っている場合は、空港の入国審査で誤解を招かれる恐れもあるので注意すること。

■問い合わせ先

2022年12月現在日本国内にキリバス政府の大使館・領事館は設置されていないため、本国の外務・出入国管理省に直接問い合わせ。

Ministry of Foreign Affairs & Immigration
Bairiki, Tarawa.

Republic of Kiribati.

Tel: (686) 75021342

Email: registry@mfa.gov.ki

税 関

紙巻タバコ200本、または225g以内の葉巻、葉または棒状タバコ、そして1リットル以内のスピリッツ1本か2リットル以内のワイン（21歳以上の者に限る）は免税でキリバスに持ち込むことが可能。5000オーストラリア・ドル相当の現金を持ち込む際と持ち出す際には申告が必要。

時 差

キリバスは東西に大きく広がっているため、国内でも場所による時差がある。日本とタラワの時差は+3時間である（日本が正午の時、タラワでは午後3時）。日本とクリスマス島の時差は+5時間（日本が正午の時、クリスマス島では午後5時）。なお、ハワイのホノルルとクリスマス島は時刻は同じだが、クリスマス島が日付変更線を越えることになるため、ホノルルよりクリスマス島の方が1日進んでいることになる（つまり時差は1日）。

1994年までは日付変更線が国を2分していたが、国内で日付が異なるために起きる行政上の不便をなくすために、1995年1月1日に日付変更線を東側の国境沿いに移動させた。

そのため世界で最も早く朝日が昇る島となったカロリン島はミレニアムと新世紀の年越しを記念して、ミレニアム島に改名された。このことが2000年のミレニアムを

目前にして世界的に注目を集め、ミレニアム島の名前は一躍有名になった。



ミレニアム島

ホテル

南タラワとクリスマス島にはホテルがいくつかあるが、高級ホテルとされるホテルであっても日本のそれとは違うことをあらかじめ理解しておきたい。ここ近年、北タラワ及びタラワ近隣の島々に小規模のエコリゾートが開設されているが、その他の島では、公営や教会運営の宿泊施設がほとんどである。全ての宿泊施設で宿泊料金や飲食代金等に12.5%の付加価値税（VAT）がかかる。南タラワのホテルではエアコン完備で、温水シャワーが出るほか、無料空港送迎、有料のWiFiサービス、クリーニング、レンタカー手配を行っているほか、レストラン・バーを併設しているところも多い。

チップ

特に必要ない。

両替とクレジットカード

キリバスの通貨はオーストラリア・ドル。

ただし、クリスマス島の一部では米ドルも使用できる（オーストラリア・ドルよりレートは悪い）。出国前に両替を済ませておくことが望ましい。現地のオーストラリア・ニュージーランド銀行（ANZ Bank）で両替は可能。南タラワのバイリキ、およびクリスマス島のロントンにある。営業時間は、月曜日から金曜日の9時～15時まで。窓口は常に混雑しているため、長時間待たされることが多い。ATMは南タラワとクリスマス島のみであり、種類によっては日本のクレジットカードでもキャッシングは可能。

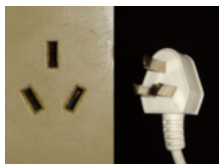
クレジットカードは利用できる場所が非常に限られており、タラワにあるトバラオイ旅行代理店（Tobaraoi Travel Agency）やタラワの一部宿泊施設でのみ利用可能。

電話・インターネット環境

キリバスの国番号は686。日本の携帯電話はNTTドコモ国際ローミングサービスのみ利用可能（GSMネットワーク対応機器のみ）。現在キリバス国内には携帯電話会社はVodafone社とOceanlink社の2社あり、身分証明書提示の上、訪問者もSIMカードを購入することができる。国内ほぼ全域でスマートフォンからインターネット通信を含めて通信可能であるが、通信状態が安定していないことや、速度が極度に遅いこともあるので注意が必要。タラワの宿泊施設では有料ながら、WiFiサービスを提供しているところも多い。

電 気

電気は240ボルト、50ヘルツであり、プラグはO型（オセアニア型）である。クリスマス島の一部ではA型（アメリカ型）のプラグを使用しているところもある。



O型プラグ

ビジネスアワー

官公庁：9時～17時15分（月～金）

郵便局：9時～15時（月～金）

一般の商店：7時～19時頃

（20時30分頃まで開いている店もある）（月～土）

祝祭日（2022年）

1月 1日 新年

3月 8日 女性の日*（3月第一火曜日）

4月15日 健康の日*（4月第一金曜日）

4月15日～18日

イースター（3日間）*

5月 2日 メーデー*（5月第一月曜日）

7月 8日 福音の日*

7月11日 文化・敬老の日*

7月12日 独立記念日

7月13日 独立特別記念日*

8月 5日 青年の日*（8月第一金曜日）

10月 5日 教師の日*（10月第一水曜日）

12月12日 人権の日*（12月第一月曜日）

12月25日 クリスマス

12月26日 ボクシング・デー

（*）年によって前後する。

服装と持参したいもの

●服装はカジュアル

1年をつうじてTシャツにズボンといった格好が最適である。フォーマルな場でも襟付きシャツに長ズボンで問題ない。ただし、女性の場合は太ももを露出させない服装をすること、また海水浴の際には女性は水着のままではなく、その上に服やラッシュガード着用して海水浴をするのがマナーである。地元の人は半袖シャツにラバラバ（テ・ベー）と呼ばれる腰巻きやズボンを穿いているのが一般的。また女性はシブタと呼ばれるキリバス独特のブラウスを着用している人も多い。

●サンダル

靴以外にサンダルを持っていくと、ちょっとした町歩きやビーチに行くときも便利である。

●懐中電灯

停電が起こることもあるので、懐中電灯があれば便利。

●医薬品と化粧品

現地で購入できるものは非常に限られているので、日頃使用している医薬品や化粧品、コンタクトレンズ液などは日本から必ず持参すること。

●日焼けに対する対策

キリバスの日差しの強さは想像を超えている。必ず自分にあった日焼け止め（高

SPFのものが望ましい)を持参し、こまめに塗り直すこと。また帽子やサングラスを持参し、直射日光を避ける対策を行うのが望ましい。

健康を守るために

旅行に出かけると、どうしても長時間のフライトによる疲れや、暑さや飲み過ぎ、食べ過ぎで知らない間に身体の調子を崩しやすくなる。自分の身体の調子に合わせ、旅行のスケジュールは無理をせず、余裕のあるものにしたい。キリバスでは消化器系の感染症は少なく、アジア地域やアフリカ地域のように、特に注意が必要なことはないが、病気を予防する上で下記のことを注意したい。

(1) 注意したい食べ物

生水

キリバスの水道水はサンゴ地質の地下水であることから石灰分も多いため、硬質の水に慣れていない人や、浄水システムにおける消毒が不十分なこともあり下痢をする人が多い。必ず煮沸して飲むようにする必要がある。歯磨き後のうがい程度であれば特に神経質にならなくてもよい。ホテルは敷地内の地下水や自家水槽、雨水タンクを使用しているところがほとんどで基本的に24時間使用可能。ミネラルウォーターは

一般に販売されている(1.5ℓで300円前後)。

食品

高温・多湿の気候のため食品が傷みややすい環境なので、不衛生な取り扱いをしているレストラン・屋台などでの飲食は避ける。

(2) その他の病気

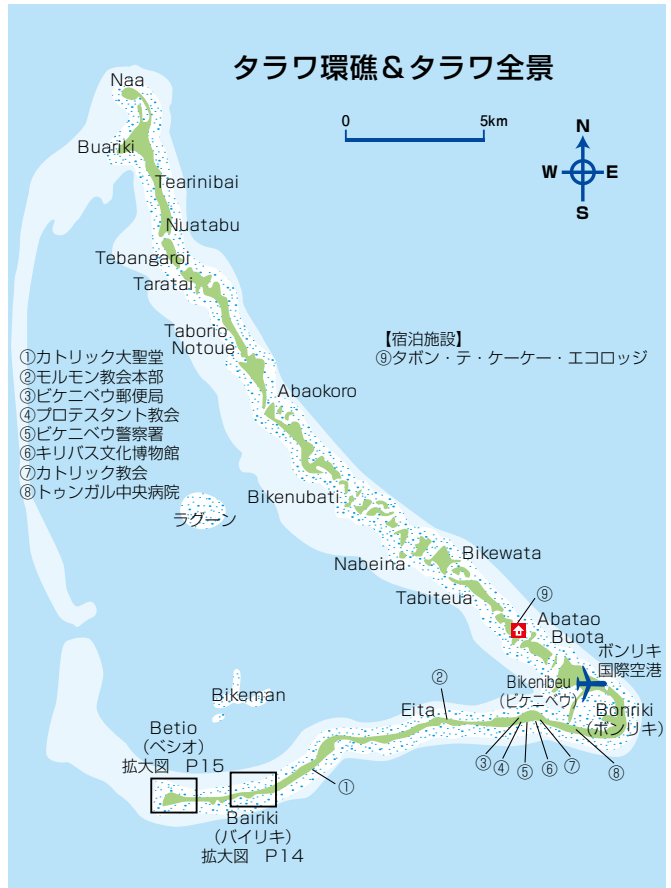
キリバスは、日中に活動するネッタシマカやヒトスジシマカによって媒介される Dengue 熱の流行地域にあたり、数年に一回流行が確認されている。Dengue 熱は、ウイルス性の感染症で、主症状は持続する38～40℃の発熱や眼窩痛、頭痛、筋肉痛や関節痛など。発症後3～4日後より胸部から非特異性の発疹が出現し、四肢、顔面へ広がる。四肢にかゆみを伴うことが多い。放置しても1週間程度で自然と治癒する。しかし、まれに Dengue 出血熱と言われる出血を伴う重症疾患が現れることがある。蚊によって媒介される寄生虫疾患もあり、蚊には注意し、市販の虫除けスプレーなどを持参することが望ましい。蚊はホテルの室内にも潜んでいることがあるので、電池式蚊取り機を持参するのも有効な対策になる。

またA型肝炎も比較的多く確認されることから、衛生状態に不安を感じた場合には、生の魚介類を避けた方が無難。

首都タラワ

タラワ環礁はアルファベットのLを逆にした形をしている。環礁の南西端ベシオから東に空港のあるボンリキとその先のタナエアまでの部分が南タラワと呼ばれ、官公庁や銀行などはこの地域に集中しており、キリバスの政治・経済の中心地となっている。タラワの首都としての機能は主にこの南タラワの3つに分けられる地区により担われており、南タラワ西端のベシオは港湾地区、バイリキは官庁街、空港に近いビケニベウは文教地区となっている。環礁の北の部分は北タラワと呼ばれ、整備された道路も完備されておらず、南タラワと違い未だに昔ながらの雰囲気を残している地域である。

またタラワ環礁内でベシオはベシオ町 (Betio Town Council)、バイリキからタナエアまでが南タラワ市 (Teinainano Urban Council) とタナエアと鉄橋でつながっているブオタから北が北タラワ島 (Eutantarawa Island Council)の3つの地方自治体に分かれている。



●タラワへの行き方

(国際線)

フィジーのナンディよりフィジー航空、

オーストラリアのプリズベンよりナウル航空とソロモン航空、マーシャル諸島のマジュロよりナウル航空を利用する。ナン

ディ〜タラワ間の飛行時間は約3時間で週2便運航している。空港はボンリキ国際空港 (Bonriki International Airport) で、空港から中心地のバイリキまでは車で約1時間。

キリバスに限らず、太平洋諸島間の航空路線は不安定で、飛行機の時間も時刻表通

りにいかないことが多い。旅行計画を立てる際は、詳しい情報収集を行った上で、大らかな気持ちで飛行機の到着や出発を待ちたい。

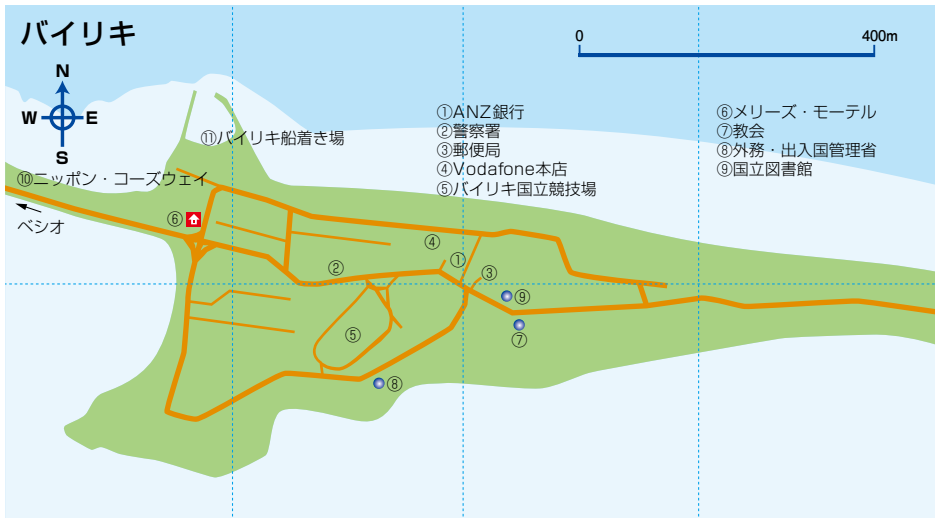


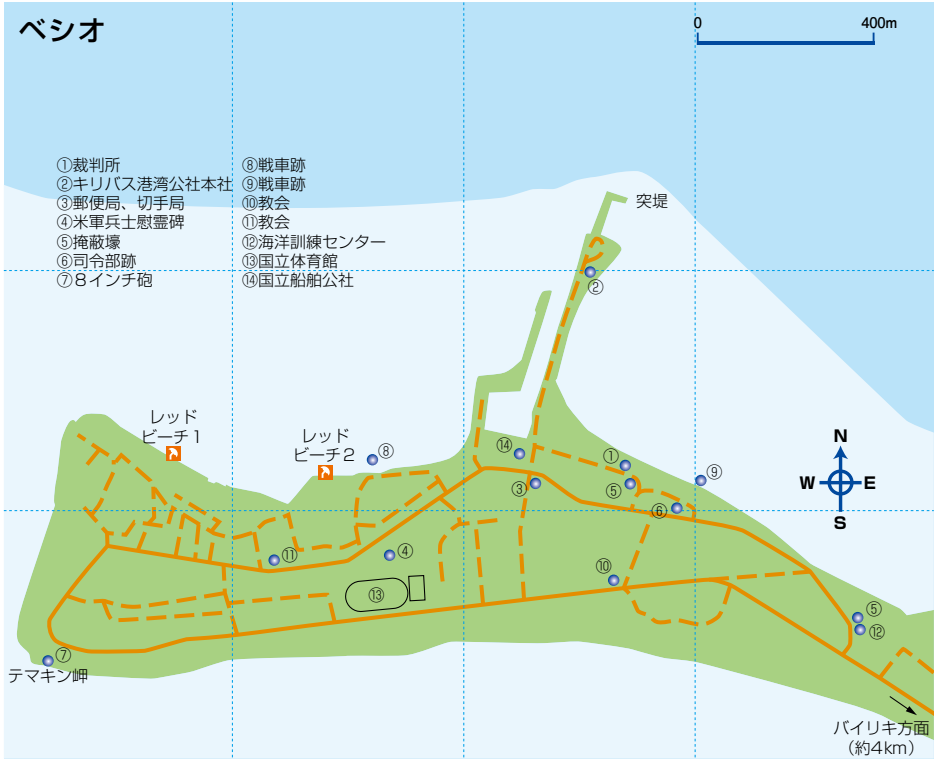
フィジー航空



ボンリキ国際空港

●主な中心都市図





●政府観光機構

政府観光機構 (Tourism Authority of Kiribati) はベシオにある。

(連絡先)

Tourism Authority of Kiribati

Takoronga, Betio

South Tarawa

Republic of Kiribati

Tel: (686) 75125998

Email: info@kiribatitourism.gov.ki

URL: <https://visitkiribati.travel/>

●銀行

オーストラリア・ニュージーランド銀行 (ANZ Bank) が南タラワのパイリキと、クリスマス島のロントンにある。

●郵便局・切手

中央郵便局はパイリキにある。支局は南タラワのベシオ、ピケニベウ、及びクリスマス島を含む全有人島にある。営業時間は9時から15時、月～金。

中央郵便局：(686) 75021048

ベシオ郵便局：(686) 74026003

ピケニベウ郵便局：(686) 75228078

クリスマス郵便局：(686) 75381203

キリバスはユニークな記念切手を数多く発行している。ベシオにあるキリバス切手局 (Philatelic Bureau) もしくは各郵便局にて購入できる。

キリバス切手局 Kiribati Philatelic Bureau
MICTD, Betio, Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 74026515

Fax : (686) 74026193

Email: kpb@mcttd.gov.ki



キリバスの記念切手

●医療サービス

南タラワには空港近くにトゥンガル中央病院 (Tungaru Central Hospital) があるほか、ベシオにベシオ病院 (Betio Hospital)、そして国内各地に診療所が設置されている。薬局は南タラワのバイリキにあるスーパーモールにアネイエタ薬局・クリニック (Aneieta Pharmacy & Clinic) がある。国内の医療水準は高くなく、重症・重傷例は国内で治療を受けることができないことから、日本からの訪問客は海外緊急搬送付きの海外旅行保険加入が安心。

救急フリーダイヤル：194 (ツンガル中央病院)
195 (ベシオ病院)



中央病院

アネイエタ薬局・クリニック (Aneieta Pharmacy & Clinic)

Ground floor,

SUPER MALL, Bairiki

Tel: (686) 75022163



アネイエタ薬局・クリニック

●公共交通機関

南タラワの移動に便利なのが、乗り合いバスである。料金は1～2オーストラリア・ドル程度であり、南タラワ東端からベシオ



西端までの間を往復している。バスと言ってもいわゆるライトバンで、「BUS」とフロントガラスに表示されており、バス停で乗り降りする。バスから降りる際キリバス語でイカイ(ikai)という止まる。終バスはだいたい午後9時前後。タクシーはない。

●レンタカー

各ホテルにて手配が可能。セダンタイプで1日60～80オーストラリア・ドル程度。事前に予約してあれば、依頼すれば空港まで配車してくれる。空港から市街地までの道は一本しかないので迷う心配はないが、道路には歩行者と急停車する乗合バスや車両が多く、夜は街頭がほとんどなく真っ暗なので、運転には注意が必要。車のハンドルは原則右ハンドルの左側通行と日本と同じ。

アクティビティ

まだ観光地として開発が進んでいないため、観光スポットやアクティビティには限りはあるものの、どこまでも美しいラグーン、客人へのおもてなしが最も大切な文化とするキリバスの人たちとの触れ合いなど、「観光客ではなく旅人気分(Kiribati for Travellers)」を満喫できる。南タラワに滞在する際には、ぜひ北タラワ、そして時間が許すのであればぜひ離島を訪問してほしい。「まだこの世にこんな景色と人たちがいるのか」と感激するだろう。クリスマス島はバードウォッチング、ゲームフィッシン

グとダイビングの知人ぞ知る聖地で、手つかずの自然を満喫することができる。



●ツアーオペレーター

キリバス・ホリデーズ Kiribati Holidays

南タラワのビケニベウにある国内最大の旅行会社・航空代理店トバラオーイ・トラベル(Tobaraoi Travel)が経営しているツアーオペレーターで、戦跡ツアーを含むタラワ島内観光、キリバス舞踊鑑賞、ボートの手配など、全般的に手配が可能。また北タラワのタボン・テ・ケーケー・エコロッジ(Tabon te Eco-lodge)も経営している。英語のみの対応。

Tel : (686) 74028715

Email: info@kiribatiholidays.com

visiting@tobaraoi.com

URL: www.kiribatiholidays.com



モリーズ・ツアー Molly's Tour

特に戦跡ツアーのアレンジに強い。英語のみの対応。

Tel : (686) 73001016

E-mail : mollybrown413@gmail.com

●遊覧飛行・離島へのチャーター

エア・キリバス Air Kiribati

Tel : (686) 74028533

Email: info@airkiribati.com

URL: <https://airkiribati.com.ki/>

観光スポット

ベシオの戦跡

War Relics



太平洋戦争中の激戦地として知られるタラワの戦場の中心となったのがベシオである。1943年11月、旧日本軍約4600名は、2万名の米軍を迎え撃ち（タラワの戦い）、3日間の激戦の末、最後には玉砕に至るといふ悲劇の運命をたどった。ベシオの西端と東端（コーズウェイの手前）には、旧日本軍の砲台やトーチカが現在も残されているほか、最東端外洋側には日本人慰霊



碑や観音像も建てられている。島の北東部には旧日本軍の司令部の建物が昔の姿を留めている。下記の旅行代理店でツアーの予約が可能。

トバラオイ・トラベル Tobaraoi Travel

モーリー・ツアーズ Molly's Tours

ニッポン・コースウェイ

Nippon Causeway



南タラワのベシオとバイリキを結ぶ約3.5キロの埋め立て道路。1987年に日本の援助で造られ、2019年に同じく日本の援助で改修された。コースウェイの上からはすばらしく青い色をしたラグーンを一

望できる。ラグーンの内側の緑がかった青色と外海の深い藍色、そして澄みきった空の青色のコントラストは心が震えるほど感動的。海に沈む夕日の景色も絶景だ。ちなみにこのコースウェイを現地の人たちは“ニッポン・コースウェイ”と呼んでいる。なおバイリキ方面からベシオに入る際に車両の場合通行料がかかる（セダンは20セント）

キリバス文化博物館

Kiribati Cultural Museum (Umwanihong Cultural Centre)

南タラワのビケニベウにある国立博物館で、展示品は少ないながらもキリバスの文化や歴史を学ぶことができる。開館時間は9時から17時15分（12時半～13時半までは閉館）、月曜日から金曜日まで。

Tel : (686) 75228283

市場

Market

南タラワ内各地に市場がある。生鮮品・食料や衣服、生活雑貨等が売られており、地元の生活が垣間見える楽しい空間である。



市場の女性

バイリキ国立競技場

Bairiki National Stadium

バイリキにある国内随一のスタジアム。休日にはスポーツを楽しむ人やサッカーの試合などに使われているほか、7月12日の独立記念日にはこのスタジアムでさまざまな行事が行われる。2022年12月現在改築のため閉鎖中。



ハンディクラフト（工芸品）ショップ

Handicraft Shops

パンダナスで作ったバッグやバスケット団扇やマット、貝のネックレスなど、すべて手作りで素朴ながら美しいさまざまなハンディクラフトが販売されている。

タラワにある主なハンディクラフト・ショップ

- キリバスホリデーズ・ハンディクラフトショップ
Kiribati Holidays Handicraft Shop
Bikenibeu, at Kiribati Holidays Building,
Tel : (686) 74028715
- イトイニガイナ・ハンディクラフト・センター
Itoingaina Handicraft Centre
Teaoraereke



南タラワの主なホテル

ウシレイ・ホテル

Utirerei Hotel

南タラワのメインロードから少し離れたところにある、静かで趣のある宿泊施設。手入れの行き届いた客室と藁葺き屋根の小屋は、ミルクフィッシュが泳ぐ自然の池の上であり、その様子を眺めることができる。美しく手入れされた庭は、涼しく爽やかな環境を保っている。ボンリキ国際空港から車で約20分、官公庁の集まるバイリキまで車で約20分、主要スーパーマーケットのあるベシオまで車で約30分。また、キリバス国会議事堂からは徒歩5分の距離。レストラン、バー、会議室併設。

地域 アンボ（南タラワ）

部屋数 26

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$80から（軽朝食込み・VAT別）

コンタクト先

Ambo Village, Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 75022530 or 75021168

Email: info@utirereihotel.com

URL: <https://www.utirereihotel.com/en/>



メリーズ・モーテル

Mary's Motel

キリバスでは老舗のホテルで、創業者のあるメリーの子供や孫たちによって運営されており、そのおもてなしの精神を引き継いでいる。ニッポン・コースウェイ（19ページ）のバイリキ側たもと、船着き場の近くに位置し、ホテルだけとしてではなく、会議室や国内では有名なレストランがある。25名収容可能な会議室はエアコン、テーブ

ル、椅子、ホワイトボードが完備。全15室。官公庁のあるバイリキにあるためビジネス客の宿泊も多い。またゲームフィッシング用のボートもチャーターできる。

地域 バイリキ（南タラワ）

部屋数 15

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$80から（軽朝食込み・VAT別）

コンタクト先

P.O. Box 12, Bairiki Tarawa,
Republic of Kiribati

Tel : (686) 75021362 or 75022227
Email: reservations@marysmoteltarawa.com
URL: <https://www.marysmoteltarawa.com/en/>

フェマ・ロッジ

Fema Lodge

ラグーンへの眺めがよく、自然のクーラーであるラグーンからの涼しい風を受けるのにちょうどよい場所に位置している。ロッジのオープンダイニングでは、風が吹き抜け、ドリンクを片手にくつろぐことができ、フレンドリーで親切なスタッフが、ここでの滞在をさらに充実したものにしてくれるだろう。木と緑に囲まれた居心地の良い空間は、プライバシーを守るのに十分な場所にあるものの、フレンドリーな近隣住民から完全に隔離されているわけではなく、南タ



ラワの中間点にある。レストラン併設。

地域 アンテナン (南タラワ)

部屋数 11

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

シングル \$80から (軽朝食込み・VAT別)

コンタクト先

P.O. Box 84, Bairiki Tarawa,
Republic of Kiribati

Tel : (686) 75021039 or 73003352

URL: <https://www.femalodge.com.ki/en/>

ドリーマーズ・ゲストハウス

Dreamers Guest House

キッチン付き3部屋のB&Bで、部屋からの眺めが素晴らしく、またキリバスの宿泊施設では唯一の太陽光発電による淡水化システムを持ち、また太陽光発電により停電の心配も少ない。アンボの国会議事堂の

近くに位置し、南タラワの全てに簡単にアクセスでき、都会の騒音や喧騒を感じることはなく、敷地はメインロードから奥まったところにあり、ビーチにつながる広々とした庭付き。

地域 アンボ（南タラワ）

部屋数 3

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$70から（軽朝食込み・VAT別）

コンタクト先

P.O. Box 84, Bairiki Tarawa,
Republic of Kiribati

Tel : (686) 73003453 or 73008598

Email: dreamerskiribati@gmail.com

URL: <https://www.dreamerskiribati.com/>

ザ・ジョージホテル・キリバス

The George Hotel Kiribati

南タラワのベシオの中心部に位置するザ・ジョージ・ホテルは、2013年にオープンした家族経営のホテルで、埠頭、政府機関、ベシオの主要機関と近接している。キリバス、アジア、西洋を融合させたコンセプトで、ホテルの向かいにはDJマリナナイトクラブがあり、ナイトライフを楽しみたい方にもおすすめ。レストラン併設。

地域 ベシオ（南タラワ）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$90から（軽朝食込み・VAT別）

コンタクト先

Power House Road, Betio,

Tarawa Island

Tel : (686) 75126340 or 75088665

Email: thegeorgehotelkiribati@gmail.com

URL: <https://visitkiribati.travel/accommodation/south-tarawa/the-george-hotel-kiribati/>



ベシオ・ロッジⅠ&Ⅱ

Betio Lodge I & II

南タラワのベシオに、ベシオ・ロッジⅠとロッジⅡという2つのホテルを運営して

おり、双方とも主要なショッピングエリアや国立体育館へのアクセスが便利で、キッチン付きの部屋も2部屋ある。また、タラワの北に位置するアバイアン島の小島にあるテイリオ・ビーチ・リゾートというプライベートリゾートを運営しており、日帰りツアーを楽しむこともできる。レストラン併設。

地域 ベシオ（南タラワ）

部屋数 26

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$90から（軽朝食込み・VAT別）

コンタクト先

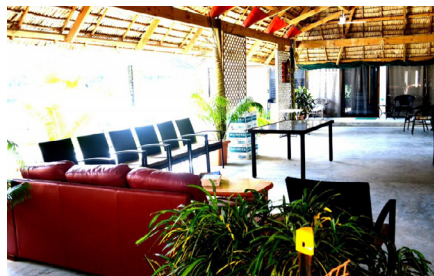
Betio, Tarawa Island

Tel : (686) 75125073 (ベシオ・ロッジ I)

(686) 75125377 (ベシオ・ロッジ II)

Email: reservations@betio-lodge.com

URL: <https://www.betio-lodge.com/en/>



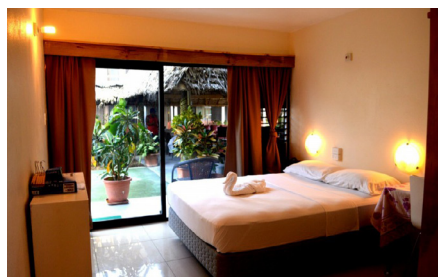
北タラワ

North Tarawa

美しい海と俗化されていない昔ながらの生活が残る北タラワは、南タラワとはまた別の表情を見せてくれる。キリバスの自然そのものを満喫できる場所としては最適だ。点在する小島は、干潮時には歩いて互いを行き来することができる場所もある。島の中の集落を訪れ、そこに住む人々の暮らしにふれることもできる。ただ、村の人々が普通に暮らしているところに入っていくことになるので、許可なく写真を撮ったりせず、礼儀を持って接しよう。

南タラワからのアクセス

メリーズ・モーター（21ページ）の裏にある船着き場やアンボ・タポリオ間のス



チュワートコースズウェイのラグーン側から、毎日だいたい午後3時ごろに北タラワ各地区行きのボートが出ている。料金は片道5〜20オーストラリア・ドル。ボートをチャーターした場合の料金の目安は300オーストラリア・ドル（往復）。



北タラワの主なホテル

タブン・テ・ケーケー・エコロッジ

Tabon Te Keekee Ecolodge

美しいビーチに囲まれたエコツーリズムの休日に最適。アバタオにある静かな施設は、西洋の贅沢品はほとんどなく、くつろぎと人生のシンプルなものを再発見するのに完璧な場所で、水上陸上両方の宿泊棟はすべて伝統的な家屋。ビレッジツアーも行っており、南タラワから日帰りでも訪れることができる。北タラワ最南端のプオタ（南タラワからの道路の行き止まり）から、干潮の際徒歩で、満潮の際は渡し船（片道50セント）でそれぞれ数分。

地域 アバタオ（北タラワ）

部屋数 3

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

一人 \$55から（朝夕食込み・VAT別）

コンタクト先

Tel : (686) 74028715

Email :

info@kiribatiholidays.com

visiting@tobaraoi.com

URL: <https://www.kiribatiholidays.com>



ビケンアラアラ・リゾート

Bikenaraara Resort

日本に長年滞在したことがあるオーナーが経営し、料理も評判が高い。掃除も大変行き届いており、宿泊棟はすべて伝統的な家屋であるが、24時間電気を使え、ラグーンからの心地よい風、この世とは思えないラグーンの美しい眺めは、感動する事間違いないだろう。また、国際会議や政府関連

の会議会場としても利用された実績があり、好評を得ている。

地域 テアリニバイ（北タラワ）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

一人 \$90から（3食込み・VAT別）

コンタクト先

Bikennaraara, Tearinibai, North Tarawa

Tel : (686) 72022999

Email: ticketing@equapac.com

URL: <https://www.equapac.com/>



ネマット・リゾート

NEMAT Resort

北タラワ最北端に近いブアリキ地区に位置する家族経営のリゾートで、こちらも宿泊棟は水上や陸上に建てられた伝統的な建物。美しいタラワラグーンに面しており、白砂のビーチからは北タラワの端にあるナア島を見渡すことができ、色鮮やかな夕日とともに一日の終わりを迎えることができる。釣りやシュノーケリングのレンタル機材も比較的多い。

地域 ブアリキ（北タラワ）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

一人 \$35から（VAT別）

コンタクト先

Buariki, North Tarawa

Tel : (686) 73034197 or 73045240

Email: nematkiribati@gmail.com

URL: <https://visitkiribati.travel/accommodation/north-tarawa/nemat-resort/>





サンタ・ファウスティナ・ホームステイ

Santa Faustina Homestay

キリバス文化に直接触れることができるユニークな体験旅行の機会を旅行者に提供している。北タラワの家庭に滞在することで、旅行者は島の住民の日常生活に直接触れることができ、豊かな地域文化と開発によるライフスタイルの変化を両立させる過程にある太平洋の島のコミュニティへの深い理解と洞察を得ることができよう。受け入れは1日1組のみ。

地域 タビテウエア（北タラワ）

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

一人 \$60から（3食込み・VAT別）

コンタクト先

Tabiteuea Village P.O.Box 369,

Bikenibeu, Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 73021700 or 73014361

URL: www.santafaustinahomestay.com/en/



タブキ・リトリート

Tabuki Retreat

北タラワのブロークンブリッジの近くに位置し、友人や家族、小さなグループで一日または週末を平和でリラックスした雰囲気の中で過ごしたい方に理想的な場所。ブロークンブリッジの澄んだ水は、素晴らしいスイミングスポットを提供している。アイランドバンガローに宿泊し、泳いだり、カヤックをしたり、日光浴をしたり、ただ

ただ平和を楽しむことができる。

地域 タビテウエア（北タラワ）

部屋数 5

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$150から（3食込み・VAT別）

コンタクト先

Tabiteuea Village,

North Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 73044546

Email: ticketing@equapac.com

URL: <https://www.tabukiretreat.com/>

Home.html

ウアーイアイランド・ゲートウェイ

Uaai Island Gateway

南タラワに近く、シンプルなアイランドライフを楽しむには最適な場所。青い空、澄んだ水、そして新鮮で美味しいシーフード、キリバスの魅力を存分に楽しめる。南タラワからの日帰りにも対応。こちらも水上、陸上共に宿泊棟は伝統的な家屋で、透明度の高い美しい海を生かし、カヤックやシュノーケリングで一日を楽しむことができる。レンタル機材あり。

地域 タビテウエア（北タラワ）



部屋数 5

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

一人 \$20から (VAT別)

コンタクト先

Uaai Island Tabiteuea Village,

North Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 75021135

Email: uaaiislandgetaway@gmail.com

URL: www.uaaiislandgetaway.com/



タラブアカ・ハイダウエイ・ロッジ

Tarabuaka Hideaway Lodge

都会の忙しい生活から離れたいグループや個人のために特別にデザインされたロッジ。首都南タラワから船で1時間、北タラワのブアリキ地区の内陸に位置しています。ラグーン側ではマングローブが、海側ではビーチと波の音が迎えてくれ、リラックスとレジャーを提供してくれる。またビレッジツアーや文化体験も体験できる。

地域 ブアリキ (北タラワ)

部屋数 5

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

要問合せ

コンタクト先

Buariki Village,

North Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 73024555

Email: info@tarabukahideaway.com

tarabukahideaway@gmail.com

URL: <https://www.tarabukahideaway.com/Home.html>



エウタン・ブアリキ・パラダイス (ブアリキ・エコロッジ)

Eutan Buariki Paradise (Buariki Ecolodge)

通称ブアリキ・エコロッジは、北タラワのブアリキ地区に位置している。南タラワ

から離れ、キリバスの生活様式を経験したい人にとって理想的な場所。ブアリキはまた、興味深い史跡を見ることができる文化的な歴史に富んだ場所でもあり、カヌー体験、ビレッジツアー、シュノーケリング、水泳、サーフィン、地元の漁業活動などに参加できる。

地域 ブアリキ（北タラワ）

部屋数 5

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ

コンタクト先

Buariki Village,

North Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 73092989

URL: <https://www.facebook.com/people/Eutan-Buariki-Paradise/100063653435850/>



オーシャンビュー・モーター

Ocean View Motel

北タラワの行政区アバオコロ地区にあり、北タラワ島役場や船着き場に近い。海とタラワのラグーンを望む美しい立地で、

海風に吹かれながらリラックスしたり、地元の料理を楽しんだり、海水浴やカヤック、ボートでのシュノーケリングなどを楽しめる。また、南タラワからの出張者の宿泊も多い。

地域 アバオコロ（北タラワ）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ

コンタクト先

Abaokoro Village,

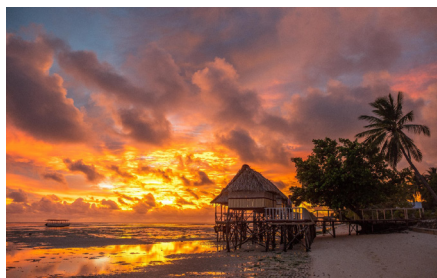
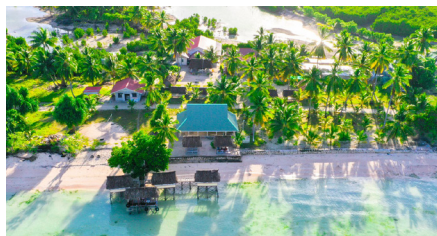
North Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 73005059

Email: tooti95@gmail.com

URL: <https://www.facebook.com/oceanviewmotelTarawa>





南タラワの主なレストラン

南タラワ内のホテルはレストランとバーが併設されており、料理の質やレストランの設備もしっかりしている。以下は代表的なレストランで、このほかに南タラワ内各地に小規模の中華料理店が点在している。

メリーズ・モーター・レストラン

Mary's Motel Restaurant

バイリキ地区にあるメリーズ・モーター併設のレストランで、国内では老舗。一品



10~20オーストラリア・ドル程度。ホテル併設のため外国人が多い。



オーシャン・ファミリー・シーフードレストラン

Ocean Family Seafood Restaurant

バイリキ地区のスーパーモール内にあり、国内で最高級のレストラン。個室完備。中華料理のほか、寿司やカレーライスなども提供される。



メリーズ・ビーチカフェ

Mary's Beach Café

ニッポン・コースウェイのベシオ側入り口近く。メリーズ・モーターが運営するカフェで、ラグーンを眺めながら、フィッシュアンドチップスやハンバーガーなどの軽食を楽しむことができるほか、本格コーヒーやスムージー、カクテルなども提供される。



ザ・ホライゾン

The Horizon

同じくニッポン・コースウェイのベシオ側入り口近くにあるカフェで、様々なドリンクや軽食のほか、ハンバーガーがおいしいと人気が高い。また国内では唯一の「ピアタワー」も提供されるほか、子供用の遊

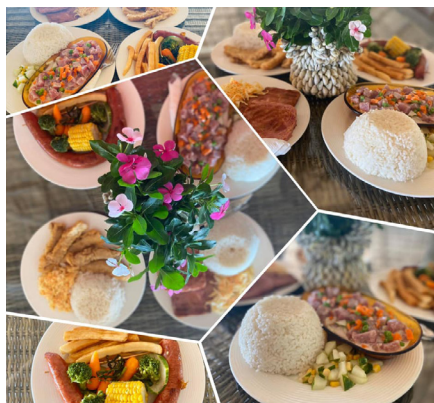
具やキッズメニューもある。夜はバーとしても営業している。



コアコアズ・コーナー

Koakoa's Corner

アンテナン地区にあり、珍しいローカルフードが提供されることも。





チャッターボックス・カフェ

Chatterbox Café

ビケニベウ地区にあるトバラオイ・トラベル内に併設されているカフェで、エアコン完備。サンドイッチなどの軽食やブラウニーのほか、本格コーヒーを使った様々なフレーバーコーヒーやアフォガード、スムージー等を楽しめる。



その他の島々

タラワを離れ、外洋の島々に行くと、そこは西洋文明から離れた穏やかな景色が流れている。車も少なく、人々は魚とココナツなどを中心としたシンプルな食生活をし、たまにコブラを売って現金を稼ぐ。人々は多くのものを持ってはいないが、皆で支え合って本当の意味で豊かな生活を送っている。なかなか行く機会の少ない島々だが、行くと必ず心の洗われる体験と美しい自然に出会えることだろう。

島々への行き方

エアー・キリバスがギルバート諸島各地に最低毎週一便国内線を運航している。フェニックス諸島・ライン諸島には運航していない。便数も含め頻繁に変更があるので、搭乗前日に要確認。また、同社のFacebookページでも翌日のフライト案内が掲載される。

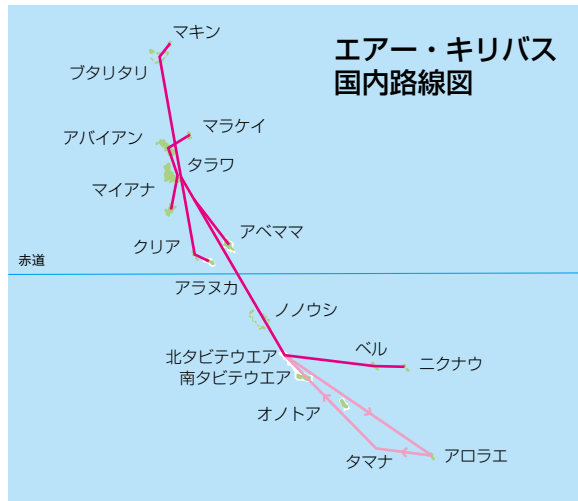


エアー・キリバス Air Kiribati
Bonriki Airport. P.O. Box 274,
Bikenibeu, Tarawa, Republic of Kiribati.
Tel : (686) 74028533

(タラワからの国内便) (22年12月現在)

行き先	往復料金	飛行時間
アバイアン	124	10分
アベママ	30	35分
アラヌカ	206	35分
アロアエ	1104	165分
ベル	414	105分
ブタリタリ	232	45分
クリア	196	30分
マイアナ	130	15分
マキン	264	45分
マラケイ	152	20分
ニクナウ	439	105分
ノノウシ	298	60分
オノトア	414	90分
北タビテウエア	354	60分
南タビテウエア	380	75分
タマナ	482	150分

(単位：オーストラリア・ドル)



E-mail : info@airkiribati.com
URL : https://airkiribati.com.ki/
https://www.facebook.com/airkiribati



船を使って各地を回ることもできるが、スケジュールが不定期なので、事前に情報収集を行い、余裕のあるスケジュールを組むこと。

キリバス・ナショナル・ SHIPPING ング・ライン

Kitibati National Shipping
Line Ltd.

P.O. Box 495, Betio, Tarawa,
Republic of Kiribati

Tel : (686) 75126195

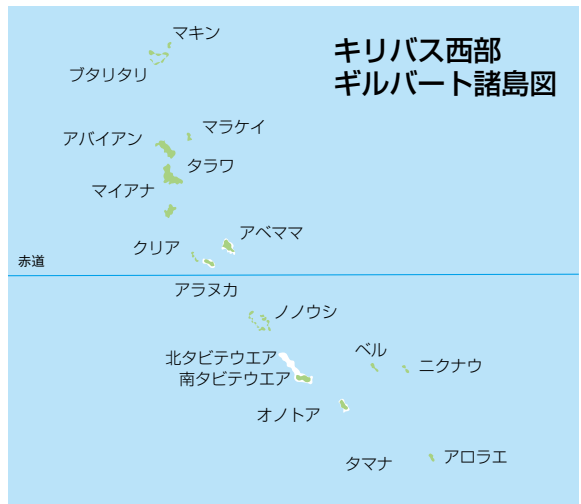
E-mail :
enquiry@knsi.com.ki

URL :
https://www.knsi.com.ki/

この他に民間の小規模船会社が多数あり、詳しくは政府観光機構（15ページ）に問い合わせのこと。

ギルバート諸島の島々

ギルバート諸島には、タラワのほかにも魅力ある島が多く存在する。中でも比較的訪れやすい3島をここでは紹介する。なお、これらの島に行く場合、飛行機等の手段は非常に限られており、またフライトスケジュールも予告なく頻繁に変更になることが多いので、充分余裕を持って予定を組み、タラワで情報収集をしてから訪れるとよいだろう。宿泊施設はあるが、タラワのようにしっかりしたホテルではないため、訪問前に観光機構（15ページ）や、ツアーオペレーター（17ページ）に相談するのがよい。



Butaritari

Butaritari

旧称ビッグ・マキン。太平洋戦争前まではギルバート・エリス諸島の貿易の中心地であり、日本の貿易会社も支店を置いてい

た。太平洋戦争中日本が占領し「タラワ・マキンの戦い」の舞台となった日米両軍の激戦地でもあるなど、日本との関係が深い島である。人口は約3300人。降水量が多いことで知られ、緑が多く比較的豊かな土地と言われる。史跡が多数残っているほか、ラグーンには海の中に沈む旧日本軍の飛行機の残骸が今でも残っている。タラワからは飛行機で約45分。

アバイアン

Abaiang

タラワの北に位置し、ボートで約4時間、飛行機で約10分と、ギルバート諸島の中では比較的タラワからアクセスしやすい島である。広さは17.5km²で人口は約5800人。ラグーンの美しさで知られるこの島は、シュノーケリングをするには最適である。また、島には昔ながらのキリバス



アバイアンの子供たち

が残っており、その雰囲気をも十分に感じることができる。アバイアンには名門セント・ジョセフ高校があり、卒業生の中には、キリバスのアノテ・トン前大統領やテブロロ・シート元大統領も卒業生である。島への交通は、アバイアン島のタブウィロア村とスアラブ村の間にあるアバイアン空港を利用する。アバイアン島には3つのゲストハウスがある。



アバイアンの海

アベママ

Abemama

「月の光の島」という美しい名前を持つこの島は、タラワから南に飛行機で約45分、ギルバート諸島の中央部に位置し、白い砂浜とクリスタルブルーの海が広がる、驚くほど美しい島でぜひとも訪れたい場所。人口約3300人。『宝島』や『ジキル博士とハイド氏』などの小説で知られる19世紀のイギリス人作家、ロバート・ルイス・スティーブensonも一時期この島に住んでいたなど、歴史的な場所や文化的な伝統が豊富にある。

ギルバート諸島のホテル

アイルズ・サンセット・ロッジ

Isles Sunset Lodge

ビーチにある2つのバンガローと陸上にある2つのバンガロー、そして1つのマネアバ（集会所）で構成されており、新鮮なシーフード、冷たいビールや飲み物も提供している。

地域 ブタリタリ（ギルバート諸島）

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ



コンタクト先

Terubeiti Michael

Tel : (686) 75088668

Email: mijendo@gmail.com

テラウ・ビーチ・バンガロー

Terau Beach Bungalows

涼しい夜風を楽しみながら、究極の波音リズムで夜を明かし、バンガローの下で貝殻を洗う甘い音を聞きながら眠り、そして地元産の持続可能な木材を使い、吹き抜ける風を感じることができる。敷地内で太陽光発電を行っており、コンセントと蚊帳は全室に完備。オーガニックアイランドの

バイアンを徒歩、バイク、自転車、ボートで探検も楽しむことができる。

地域 アバイアン（ギルバート諸島）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

一人 \$55から（朝食付き・VAT別）

コンタクト先

Tebero Village, Abaiang Island, Kiribati

Tel : (686) 73005959

Email: terabeach@gmail.com

URL: <https://teraubeachbungalow.com/>



ゲッタウェイ・ビーチ・テベロ（旧オーシャンブリーズ・バンガロー）

Getaway Beach Tebero (formerly Ocean Breeze Bungalow)

アバイアンの外洋側にあるローカルロッジで、テベロ村に位置する美しいオーシャンビューが特徴。島の文化に触れることもでき、「テ・ブイア」と呼ばれる伝統的な家屋が8棟、8人収容の家族ロッジが2棟ある。

地域 アバイアン（ギルバート諸島）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ

コンタクト先

Tebero Village, Abaiang Island, Kiribati



Tel : (686) 73062045 or 73064140
Email: oceanbreezebungalow@gmail.com
URL: <https://teraubeachbungalow.com/>

アベママ・グリーン・エコホテル

Abemama Green Eco Hotel

南タラワのベシオにあるザ・ジョージホテル・キリバスが運営するホテル。名前が示す通り、環境に配慮し、カリアテビケ地区の美しいロケーションに位置している。地元でデザインされたアイランドバンガローで、ラグーン、サンセット、ビーチ、カリアトビケ・コースウェイの美しい景色を見ることができる。島内観光や自転車、バイクの手配が可能。新鮮なシーフードと冷たいビール&ドリンクもある。

地域 アベママ（ギルバート諸島）
部屋数 10



料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ

コンタクト先

Power House Road, Betio, Tarawa Island

Tel : (686) 75126340 or 75088665

Email: thegeorgehotelkiribati@gmail.com

URL: <https://visitkiribati.travel/accommodation/south-tarawa/the-george-hotel-kiribati/>

モアニヴァエ・ホテル

Moanivae Hotel

カトリックのシュバリ工高校が運営するホテルで、カリアテベケ地区にある島役場でわずか5分のところにある。アベママとこのホテルは、オーストラリアからのカトリック学校の訪問先として人気があり、宿泊施設は海側にある伝統的家屋で、



自然の涼しい海風を楽しむことができる。

島内観光などの手配も可能。

地域 アベママ（ギルバート諸島）

部屋数 10

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ

コンタクト先

c/o Chevalier College

Tel : (686) 73040834 or 73056446

E-mail : tzajong@gmail.com もしくは

teborau.r@gmail.com

地域 アベママ（ギルバート諸島）

部屋数 12

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

要問合せ

コンタクト先

c/o Abemama Island Council

Tel : (686) 73048790 or 73082727

Email: abemamaclerk@internalaffairs.gov.ki

ホテル・アベママ

Hotel Abemama

島役場が運営する公共の宿で、カリアテビケ地区の風通しの良い海側に位置しています。客室と伝統家屋により構成され、すべてにマットレス、寝具、蚊帳を完備。バスルームとトイレは2つあり、共同で使用。交通手段やツアーは、島役場で手配することも可能。



クリスマス (キリシマシ) 島

クリスマス島は珊瑚礁によって構成されており、面積は388km²、珊瑚でできた島としては世界最大級である。名前の由来はイギリスのジェームス・クックが1777年のクリスマスの日にこの島に到達した事による。別名「キリシマシ島」と呼ばれることもあるが、これはクリスマスのキリバス語読みである。サンゴが侵食されたくぼ地に海水が入り込んだ、数百の塩湖があるクリスマス島は、フィッシングのメッカとして知られ、また

ダイナミックなダイビングも楽しめるマリンアクティビティの天国。ホノルルから約3時間のフライトで、想像を超えた空と海の色そして手付かずのまま残された自然を、心いっぱい味わうことができる。クリスマス島は、現代社会から離れ、地球のあるべき姿を自らの目で確かめ体験することができる、とても貴重な場所である。もともと無人島であったが、近年タラワから徐々に人々が移住し、現在クリスマス島の人口は約7400人で、主にコブラの生産や観光関連、観賞用の熱帯魚や海塩などの輸出で生計を立てている。地名にロンドン (キリバス語でRontonと言う) パリ、ポーランドなど欧米の名前やバナナ (Banana) などの作物名が地名として付いている。

また日本の宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が、ダウンレンジ局 (ロケットの追尾、飛行中のデータ取得を行う際に、射点から見えなくなった以降の追尾/データ取得の為に設置されている地上局のこと) をクリスマス島に設置しているほか、日本版スペースシャトルプロジェクトのHOPE-X離発着実験地もクリスマス島南部のイーオン飛行場の利用が計画されていたなど、日本との関係が深い島である。



クリスマス島上空

アクセス

フィジー航空が毎週1便ナンディ・クリスマス・ホノルル往復便を運航している。

●空港からのアクセス

空港からホテルまでは、通常パッケージツアーで訪問するケースがほとんどであり、空港送迎が料金に含まれている。フリーで宿泊する場合も、ほとんどの宿泊施設で、依頼しておけば送迎サービスを行ってくれる。空港から島の中心のロントンまで約40分である。

●公共交通機関

ロントンとバナナ間をミニバスが走っている。料金は1.2オーストラリア・ドルで運行時間はだいたい午前7時から午後9時ごろまで。運行本数は少ない。

●レンタカー

専門のレンタカー会社はないので、ホテルで手配する。料金は1日約65～80オーストラリア・ドル程度。島は広くまた標識はなく迷いやすいため、運転手をつけた方が無難。

●政府観光機構

ロントンの政府合同庁舎内にキリバス政府観光機構のクリスマス事務所が置かれている。

Tourism Authority of Kiribati
Kiritimati Office

Tel: (686) 75381214

Email: ttebureau@kiribatitourism.gov.ki

●両替

ANZ銀行がロントンの政府合同庁舎内に支店を出している。平日の午前9時～午後3時まで営業している。なお、ホテルでは米ドルが使用できるところもある（但しレートは良くない）。

●クレジットカード

使用できない。主要ホテルでも現金しか受け付けないので、十分な額の現地通貨を用意する必要がある。

●郵便局

中心地ロントンにオフィスがある。

●電話・インターネット環境

10ページ参照。

●メディア

FM局（Radio Kiritimati）が1局ある。

●医療サービス

ロントンに病院があるが、決して十分な施設ではない。大きな病気、怪我の場合にはホノルルへの移送が必要となるので、くれぐれも病気や怪我には気をつけたい。

クリスマス島のアクティビティ

●フィッシング

クリスマス島は世界中の太公望たちの憧れの地。この地を訪れる観光客のほとんどはフィッシング客であることから、クリスマス島でのフィッシングの魅力は想像できるだろう。クリスマス島といえばボーンフィッシングといわれるように、浅瀬で、獲物を目で捉えてフライをキャストしボーンフィッシュを狙うサイトフィッシングが人気である。ボーンフィッシュの他にトレバリーなども釣れる。また、外洋に出たのトロリングも魅力的だ。ロウニンアジやキハダマグロ、カジキマグロなどの大物が多く釣れる。海外からの訪問客のフィッシングの場合、ガイドを付けることとキャッチアンドリリースが義務化されている。



フライフィッシングも楽しめる

●ダイビング／シュノーケリング

クリスマス島はダイビングスポットとしての魅力もすばらしい。島の内側はラグーンと呼ばれる浅い内湾になっており、クリスマス島の固有種であるフレームエンゼルフィッシュはじめ数種類のエンゼルフィッ

シュを見ることが出来る。湾口はギンガメアジやバラクーダ、マンタなど様々な回遊魚が巡り、島の周辺には、回遊魚に加え、サメも多く生息しており、ダイナミックなダイビングが楽しめる。ボートの移動中には海鳥が近づいてきたり、遠くにはイルカの群れを見ることがもある。特に浅瀬のラグーンにはマンタや海亀が集まることもあり、シュノーケリングでも見ることができる主なスポットとしては、以下の3つなどがある。

- ①ロントンとパリの間の海峡。(クック諸島周辺。アンカリング。)
- ②ポーランド沖 (クリスマス島南西端のポーランド沖。リーフ沿いをドリフト。水深約30メートルでのケーブダイブが楽しめ、マンタやナポレオンなど見られる魚もさまざま。)
- ③ベイ・オブ・レック (クリスマス島北東部の海岸。ビーチエントリー。荒波の中をかいくぐって海に入る。)

クリスマス島のダイブショップであるザ・ビレッジズ・ホテル・ダイブ・センター (The Villages Hotel Dive Center) とダイブ・アンド・フィッシング・アドベンチャー・ロッジ (Dive & Fishing Adventure Lodge) にて、機材のレンタルを含むダイビングのアレンジが可能。また、シュノーケリングのスポットに行きたい場合もアレンジしてくれる。シュノーケリングセットの貸し出しも行っている。

コンタクト先

ザ・ビレッジズ・ホテル・ダイブ・センター
(The Villages Hotel Dive Center)

Mr Tekamaeu Bureieta

Tel: (686) 73081348もしくは73081347

Email: savetekbureieta@gmail.com



ダイブ・アンド・フィッシング・アド
ベンチャー・ロッジ (Dive & Fishing
ADVENTURE Lodge)

Ms Maria Tekabaia

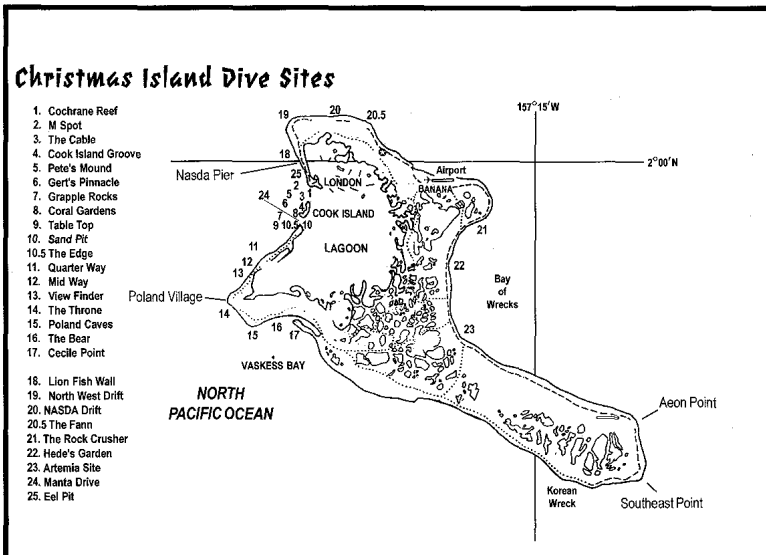
Tel (686) 73043411

Email: etekabaia@gmail.com

●バードウォッチング

クリスマス島は世界で最も多種類の海鳥
が観察できる場所として知られており、そ

の種類は約18種類で生息数は約25万羽
と言われている。グンカンドリ、シロアジ
サシ、クロアジサシ、カツオドリなどの野
鳥を見ることが出来る。特にクック島に多
く集まるクリスマス島には3地区 (Motu
Tabu, Motu Upua, Ngaon te Taake)
の野鳥保護区域が定められており、その
地域は立ち入りが規制され、野鳥の住む
あるがままの自然の姿を留めている。区
域内に入りバードウォッチングを楽しむ



には、ライン・フェニックス省野生保護課 (Wildlife Conservation Information and Marketing Office) の許可をとらねばならず、その際に許可申請料として10オーストラリア・ドルが必要となる。同課はロントンにある。また、場所によってはボートが必要となるので、事前にホテル等でアレンジをしておくとうい。なお、保護地域に入る際は野生保護課の職員がガイドとして同行することになっている。

Wildlife Conservation Information and Marketing Office

Tel : (686) 75381217



アオツラカツオドリ



野生保護課のオフィス

●サーフィン

クリスマス島とその北隣のタブアエラン (ファンング) 島沖の大きく長いブレイクは、知る人ぞ知る最後のフロンティアと呼ばれ、「混雑がない」という表現がぴったり。他のサーファーがいることはかなり稀。本当に冒険的なサーファーの、おそらく人生最高の経験となるだろう。ロントン地区からパリ地区までの5キロメートルに渡るポイント、リーフチャンネルがある。10月から3月にかけては、24種類の波が楽しめるという評判で、ハワイのサンセットビーチで8~12フィートのうねりが発生すると、1~2日後にはクリスマスで6~10フィートのクリーンフェイスになる。24のブレイクのうち、3分の2は深いチャンネルとソフトなリーフボトムの砂地。残りの3分の1は荒い珊瑚礁のボトムで、経験豊富なサーファーだけが楽しめる

コンタクト先

クリスマスアイランド・サーフ (Kiritimati Island Surf)

Mr. Buraing Tion

Email: tibariki@gmail.com もしくは

info@christmasislandsurf.com

URL: <https://www.christmasislandsurf.com/home>



クリスマス島の宿泊施設

基本的に空港送迎と3食付きで、どのホテルもレストラン併設。またゲームフィッシング、バードウォッチング、島内ツアーなどの手配も行っている。バス、トイレ、エアコン完備。また、有料でWiFiランドリーサービスも提供している。

ザ・ビレッジズ・ホテル

The Villages Hotel

タバケア地区の白砂のディスカバリービーチに位置し、環礁のラグーンに広がる水色の海を一望することができる。釣り人が集う地元の呼び名「マネアバ」を中心に、

快適なラウンジやダイニングエリアなど、南洋の優雅な雰囲気が漂っている。食事は、魚、肉、鶏肉など、地元とアメリカの味付けで、経験豊富な地元のシェフが調理し評判が高い。

地域 タバケア

部屋数 8

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

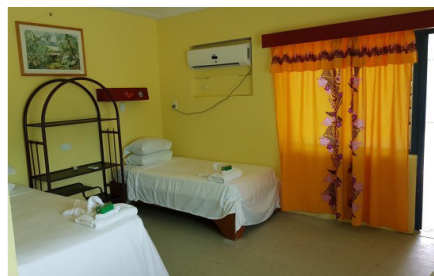
70ドルから (VAT別・食事なし)

コンタクト先

Mr Tekamaeu Bureieta

Tel: (686) 73081348 or 73081347

Email: savetekbureieta@gmail.com



イカリ・ハウス

Ikari House

イカリ (ボーンフィッシュの意) ハウスは、フィッシング・ロッジでロントンの中心部に位置し、ラグーンの入り口の端にあ

ることから、専用のビーチとラグーンの向こう側にあるクック島の完璧な景色を眺めることができる。釣具を収納するラック、テーブルと椅子、釣りの後にロッドやリールを洗うためのスペースが各部屋の外側に設置されており、クリスマス島を訪れる釣り人や個人旅行者にとって、人気の宿泊施設。

地域 ロントン

部屋数 12

料金 (米ドル)

7泊8日の3食付きパッケージ料金のみ。

部屋・3食付き一人1295ドルから

コンタクト先

Tel: (686) 75381110 or 75125598

E-mail : contact@ikarihouse.com

URL: <https://www.ikarihouse.com.ki/en/>



アドベンチャー・ダイブ&フィッシング・ロッジ

Adventure Dive & Fishing Lodge

ロントン地区の中心にある8部屋の小さなロッジ。家族経営の小さなロッジで、ボートが発着するマリーナに最も近いという利点。タラワなどからの出張者などの宿泊も多い。

地域 ロントン

部屋数 8

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

要問合せ

コンタクト先

Tel: (686) 75381364 or 73043411

E-mail : etekabaia@gmail.com

サンセット・ホライゾン・フィッシング・ロッジ

Sunset Horizon Fishing Lodge

ロントン地区の中心部に位置し、ビーチ（白い砂浜と水平線に沈む美しい夕日が楽しめる）からわずか数メートルのところにあり、海の眺めは完璧。各部屋に2つのシングルベッドを備えたエアコン完備の広々とした6つの部屋と3つのローカルバンガロー、コーヒーと紅茶を作る設備、冷蔵庫、専用バスルームを持ち、ビジネス客も対応している。

地域 ロントン

部屋数 8

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

要問合せ

コンタクト先

Tel: (686) 73091215

Email: sunsethorizonmotel@gmail.com
URL: <https://www.facebook.com/SunsetHorizonFishingLodge>



ラグーンビュー・リゾート

Lagoon View Resort

タバケア地区の端にある小さな家族経営のホテルで、美しいラグーン、白い砂浜、自然の日陰と風を楽しめるラウンジエリアがあり、たくさんのヤシの木とプライベートが、この手つかずの場所の静けさに拍車をかけている。ホテルには、エアコン付きの清潔な客室と、伝統的な地元のバンガローがあります。食事は新鮮なシーフード（魚、ロブスター、シャコエビ）や肉料理、ハワイから空輸されるサラダの食材で構成

されている。

地域 タバケア

部屋数 8

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

要問合せ

コンタクト先

Tel: (686) 63019466 or 73093920

Email: timeitima@gmail.com

URL: <https://www.facebook.com/lagoonviewresortchristmasisland>



クリスマスアイランド・サーフ・ロッジ

Kiritimati Island Surf Lodge

ロントン地区のビーチフロントに位置しており、サーフポイントまで歩いて20秒。6部屋の宿泊棟と、1棟の伝統的な家屋があり、朝食は、シリアルとトースト、コーヒー、紅茶、ジュース、ベーコンと卵など

のコンチネンタルブレックファスト。昼食は施設内か、サーフスポットへお弁当を。夕食は、マグロやワフーを含む新鮮なシーフードが中心です。また、チキンやポークなどもある。

地 域 ロントン

部屋数 7

料 金 (1泊・オーストラリア・ドル)

要問合せ

コンタクト先

Mr. Buraing Tion

Email: tibariki@gmail.com or info@christmasislandsurf.com

URL: <https://www.christmasislandsurf.com/home>



● ツアー会社

各ホテルでゲームフィッシング、バードウォッチング、島内ツアーなどの手配も行っているが、以下のツアー会社でも取り扱っている

クリスマスアイランド・フィッシング・ランド・ランドツアーオペレーター

Christmas Island Fishing & Land Tour Operator

コンタクト先

Mr. Ritemba Moantau

Tel: (686) 73091215

Email: ritemaba@gmail.com

URL: <https://www.facebook.com/Christmas-Island-Fishing-Outfitters-102293871266904>

ラグーンビュー・リゾート・ツアーズ

Lagoon View Resort Tours

コンタクト先

Mr. Timei Tima Kaitaua

Tel: (686) 73093920

Email: timeitima@gmail.com

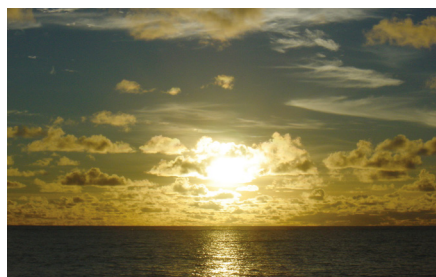
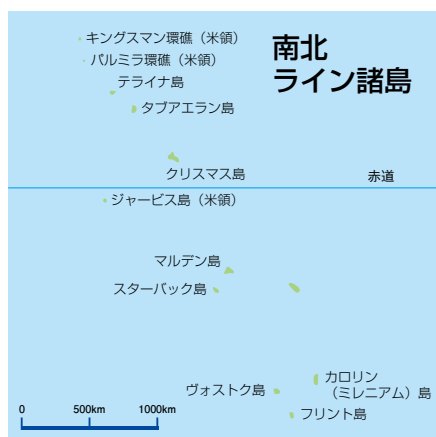
URL: <https://www.facebook.com/lagoonviewresortchristmasisland>

クリスマス島の主なレストラン

クリスマス島では新鮮な果物や野菜は全て外部から持ち込まなければならないため、食事のラインナップは極めてシンプルかつ種類が少ない。ロントン地区に集中している。

ライン諸島

クリスマス島を含むライン諸島は、南北ライン諸島に分けられ、北ライン諸島（クリスマス島・タブアエラン（ファニング）島・テライナ（ワシントン）島）は有人島だが、南ライン諸島（マルデン島・スターバック島・フリント島・ヴォストク島・ミ



レニアム（カロリン）島）は全て無人島である。南部ライン諸島立ち入りの際には、ライン・フェニックス諸島開発省からの許可が必要で、定期航空便・航路はない。

コンタクト先

ライン・フェニックス諸島開発省

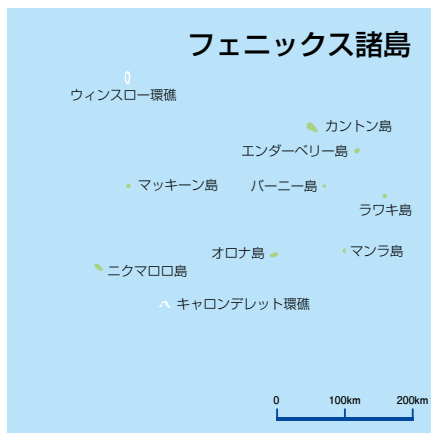
Ronton, Kiriritimati Island, Kiribati

Tel: (686) 75381211 or 753214 or 753200

Email: enquire@mlpid.gov.ki

フェニックス諸島

フェニックス諸島は8つの島（バーニー島・エンダーベリー島・カントン島・マンラ島・マッキーン島・ニクマロロ島・オロナ島・ラワキ島）から構成され、カントン島以外は無人島である。フェニックス諸島立ち入りの際には、ライン・フェニックス諸島開発省からの許可が必要で、定期航路はない。



コンタクト先

ライン・フェニックス諸島開発省

Ronton, Kiritimati Island, Kiribati

Tel: (686) 75381211 or 753214 or
753200

Email: enquire@mlpid.gov.ki



関係先リスト

大使館・総領事館

- 在キリバス日本国大使館
Embassy of Japan in Kiribati
TK Plaza 2nd Floor, Bairiki Village, Tarawa, Kiribati
Tel : (686) 73033927
URL : https://www.fj.emb-japan.go.jp/jointad/ki/ja/aboutus_j.html

貿易・投資コンタクト先

- 観光・商工・協同組合省投資推進課
Investment Promotion Division
Ministry of Tourism, Commerce, Industry & Cooperatives
P.O. Box 510 Betio, Tarawa, Kiribati
Tel : (686) 75126156
Email : investment@commerce.gov.ki
URL : <https://mcic.gov.ki/investment-promotion-office/>

観光コンタクト先

- キリバス政府観光機構（タラワ本部）
Tourism Authority of Kiribati
Takoronga, Betio, South Tarawa,
Republic of Kiribati
Tel : (686) 75125998
Email : info@kiribatitourism.gov.ki
URL : <https://visitkiribati.travel/>
- キリバス政府観光機構（クリスマス支部）
Tourism Authority of Kiribati
Kiritimati Office
Tel : (686) 75381214
Email : tteburea@kiribatitourism.gov.ki
URL : <https://visitkiribati.travel/>

編集及び写真提供をいただいた方（敬称略）

Special Thanks to

- （一社）日本キリバス協会 ケンタロ・オノ

PICの著作物に関しては、無断での複写・複製・転載はお断りしています。
さらに、転売・出品も禁止とさせていただきます。

キリバス共和国

発行日：2023年3月

発行：国際機関 太平洋諸島センター (PIC)

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-22-14

明治大学 紫紺館1階

電話：03-5259-8419

URL：<https://pic.or.jp/>

Printed in Japan

KIRIBATI

